

大阪市障がい者施策推進協議会部会 第2回大阪市地域自立支援協議会 議事要旨

日時：平成30年3月16日（金）

午前10時00分から午前12時00分

場所：大阪市役所本庁舎 屋上階 共通会議室

【議題1. 各区地域自立支援協議会の活動状況について】

【議題2. 障がい者基幹相談支援センターの業務状況について】

【議題3. 各区障がい者相談支援センターの自己評価について】

【議題4. 指定相談支援事業の実施状況について】

- ・相談支援専門員向け研修に、医療的ケアの研修を取り入れてもらいたい。
- ・地域移行の推進に向けて、精神障がい者の退院促進と施設からの地域移行を併せ持ったワーキングを開催して欲しい。
- ・セルフプランの割合が高いので、指定相談支援事業所を増やす対策を進めるべき。
- ・市の自立支援協議会のあり方について、各区地域自立支援協議会の課題を集約して市の協議会で議論し、方向性を見出すことができるような体制にすべき。

【議題5. 平成30年度からの相談支援体制について】

- ・相談支援体制の再編として、各区の相談支援センターを基幹相談支援センターに位置付けるとのことだが、各センターとも、困難ケースなど課題を多く抱えており、区基幹相談支援センターをサポートする方策を検討すべき。
- ・9ヶ所の地域活動支援センター（生活支援型）も相談支援体制の一つであるとの認識を高めるべき。
- ・地域生活支援拠点の整備について、具体的な検討を進めてほしい。
- ・地域移行支援について、区障がい者基幹相談支援センターの取組内容を示してほしい。

【議題6. 次期「大阪市障がい者支援計画・障がい福祉計画・障がい児福祉計画」（素案）に対するパブリック・コメントの結果及び次期計画（案）について】

- ・各区の課題を吸い上げて、市の協議会で方針化をする仕組みが必要。区の協議会の位置づけも変える必要があるのではないか。

【議題7. 障がい者差別解消法にかかる対応状況について】

- ・傾聴で済ませたいと判別できるスキルを身につけて欲しい。
- ・車いすへの理解促進のための冊子を作るなど、啓発の取り組みを行っていただきたい。
- ・泣き寝入りするケースも多いため、当事者に対するエンパワメントの取り組みが必要。

【議題8. 障がい者虐待の対応状況について】

- ・区ごとに対応の差があるように感じるため、市として虐待防止センターという形での構えも必要ではないか。
- ・家族からの虐待を減らすためにも、家族に対する教育・支援も必要。

【議題9．区からの意見に関する回答について】

- ・全区から意見が上がってくるような仕組みを構築すべき。
- ・区が出来ること、市が出来ること、それぞれの役割を明確にすることが必要。